

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2025年6月23日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県稲沢市菱町1番地	
氏 名 三菱電機ビルソリューションズ株式会社	
稲沢ビルシステム製作所	
所長 有川 真明	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0587-23-1111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	三菱電機ビルソリューションズ株式会社 稲沢ビルシステム製作所
事業場の所在地	愛知県稲沢市菱町1番地
計画期間	2025年4月1日 ～ 2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	25：はん用機械器具製造業
②事業の規模	製造品出荷額：82,636百万円
③従業員数	1,759人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 所長 製造管理部長（環境推進責任者） 製造管理部 製造管理課 ├─ 製造管理課長（廃棄物管理者、特別管理産業廃棄物管理責任者） ├─ 環境S G（廃棄物管理部門） └─ 稲菱テクニカ サービス部（委託部門）			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃棄物集積場のパトロールを行い、不適切な廃棄に対して分別指導を行っている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 特になし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙のとおり		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
別紙のとおり			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙のとおり			

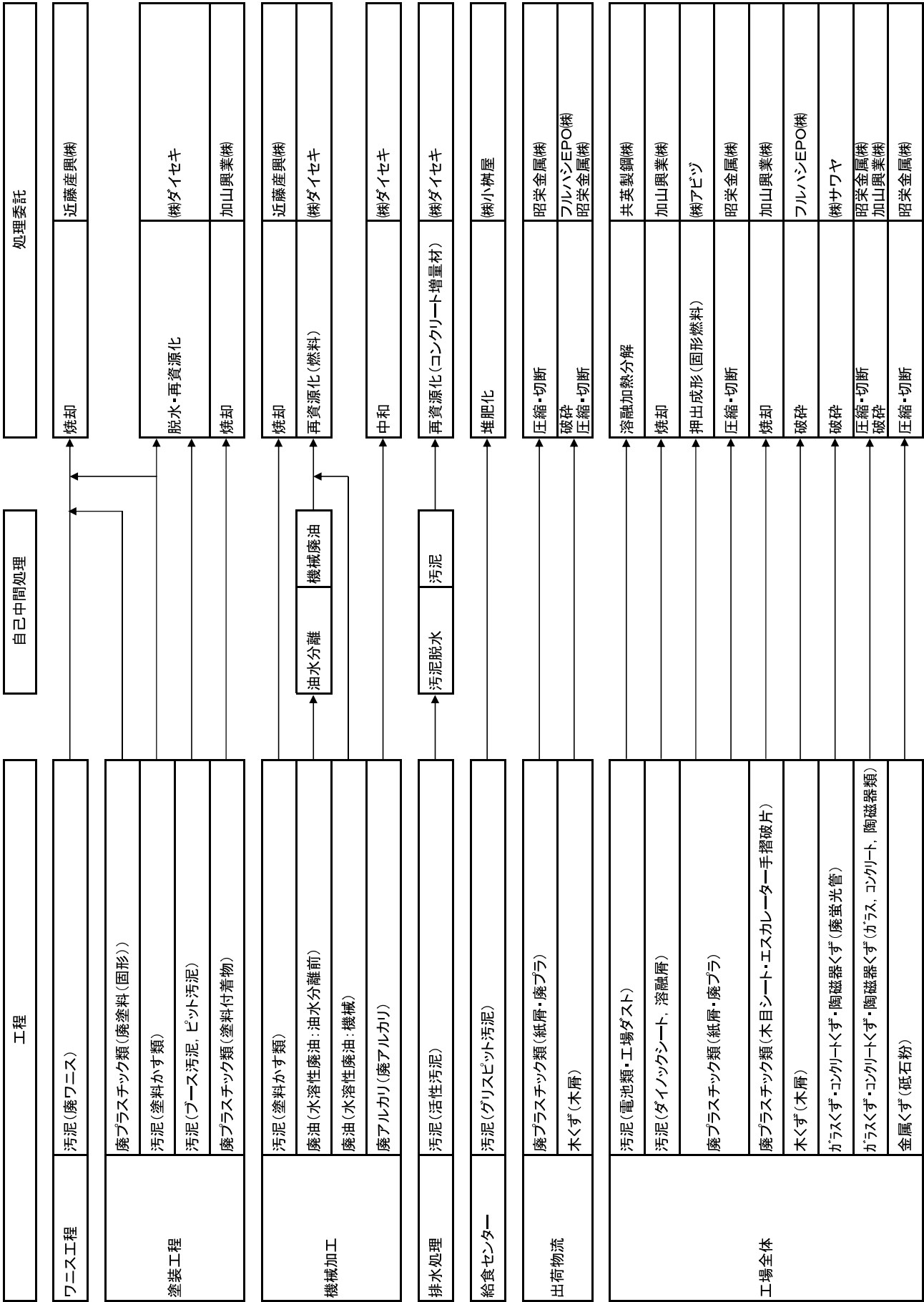
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙のとおり		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
	別紙のとおり			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程



前年度(2024年度)実績、目標及び取組

項 目		産業廃棄物の種類 (名称)	汚 泥						廃アルカリ
			活性汚泥	ブーム汚泥 ピット汚泥	塗料かす類	廃ワニス	グリスピット汚泥	電池類 工場ダスト	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	排出量(t)		721.10	101.19	15.57	0.00	11.52	9.16	20.26
【前年度 実績】	これまでに実施した取組		・特になし						・特になし
②計画	排出量(t)		700.00	90.00	15.00	0.10	10.00	9.00	18.50
【目標】	今後実施する予定の取組		・特になし						・特になし
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	自ら再生利用を行った量(t)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
【前年度 実績】	これまでに実施した取組		・特になし						・特になし
②計画	自ら再生利用を行う量(t)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
【目標】	今後実施する予定の取組		・特になし						・特になし
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	自ら熱回収を行った量(t)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
【前年度 実績】	自ら中間処理により減量した量(t)		687.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	これまでに実施した取組		・活性汚泥の脱水						・特になし
②計画	自ら熱回収を行った量(t)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
【目標】	自ら中間処理により減量する量(t)		650.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	今後実施する予定の取組		・活性汚泥の脱水						・特になし

前年度(2024年度)実績、目標及び取組

項 目		産業廃棄物の種類 (名称)	廃油		廃プラスチック類						
			水溶性廃油 油水分離	機械廃油 水溶性廃油	紙屑・廃プラ (構内)	紙屑・廃プラ (出荷物流)	塗料付着物	廃塗料(固形)	木目シート・エスケー ター手摺破片		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
①現状	排出量(t)		15.20	105.14	117.56	10.28	22.36	0.62	1.31		
【前年度 実績】	これまでに実施した取組		・特になし		・特になし						
②計画	排出量(t)		15.00	100.00	115.00	9.50	22.00	0.50	1.00		
【目標】	今後実施する予定の取組		・特になし		・特になし						
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項											
①現状	自ら再生利用を行った量(t)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
【前年度 実績】	これまでに実施した取組		・特になし		・特になし						
②計画	自ら再生利用を行う量(t)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
【目標】	今後実施する予定の取組	15			・特になし						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
①現状	自ら熱回収を行った量(t)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
【前年度 実績】	自ら中間処理により減量した量(t)		13.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	これまでに実施した取組		・水溶性廃油の油水分離								
②計画	自ら熱回収を行った量(t)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
【目標】	自ら中間処理により減量する量(t)		13.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	今後実施する予定の取組		・水溶性廃油の油水分離								

前年度 (2024年度) 実績、目標及び取組

項 目		産業廃棄物の種類 (名称)	廃油		廃プラスチック類						
			水溶性廃油 油水分離	機械廃油 水溶性廃油	紙屑・廃プラ (構内)	紙屑・廃プラ (出荷物流)	塗料付 着物	廃塗料(固形)	木目シート・エスケー ター手摺破片		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項											
①現状	【前年度 実績】	全処理委託量(t)	0.00	105.14	117.56	10.28	22.36	0.62	1.31		
		優良認定処理業者への 処理委託量(t)	0.00	105.14	117.56	0.00	22.36	0.62	1.31		
		再生利用業者への 処理委託量(t)	0.00	105.14	117.56	3.43	22.36	0.62	1.31		
		認定熱回収業者への 処理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	22.36	0.00	1.31			
	これまでに実施した取組	・再生利用業者への処理委託を行 い、最終処分量をゼロにした								・再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量をゼロにした ・塗料付 着物と木目シート・エスケーター手摺破片は、熱回収を行う業者への変更が完了した	
②計画	【目標】	全処理委託量(t)	0.00	100.00	115.00	9.50	22.00	0.50	1.00		
		優良認定処理業者への 処理委託量(t)	0.00	100.00	115.00	0.00	22.00	0.50	1.00		
		再生利用業者への 処理委託量(t)	0.00	100.00	115.00	9.50	22.00	0.50	1.00		
		認定熱回収業者への 処理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	22.00	0.00	1.00			
	今後実施する予定の取組	・再生利用業者への処理委託を行 い、最終処分量ゼロの維持								・再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量ゼロの維持 ・塗料付 着物と木目シート・エスケーター手摺破片は、熱回収を行う業者への委託を継続	

前年度(2024年度)実績、目標及び取組

項 目		産業廃棄物の種類 (名称)		木くず		金属くず	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず			
				木屑 (構内)	木屑 (出荷物流)		廃蛍光管	ガラス・コンクリート・ 陶磁器類		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
①現状 【前年度実績】	排出量(t)	261.83	254.22	・木屑(木材パレット等)のリターナブル化 ・鋼材箱、プラパレットの導入促進、簡易包装化	・特になし	6.77	0.33	1.98		
	これまででに実施した取組						・特になし			
②計画 【目標】	排出量(t)	250.00	245.00	・木屑(木材パレット等)のリターナブル化 ・鋼材箱、プラパレットの導入促進、簡易包装化	・特になし	6.00	0.30	1.80		
	今後実施する予定の取組						・特になし			
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
①現状 【前年度実績】	自ら再生利用を行った量(t)	0.00	83.67	・木材リサイクルの運用	・特になし	0.00	0.00	0.00		
	これまででに実施した取組						・特になし			
②計画 【目標】	自ら再生利用を行う量(t)	0.00	85.00	・木材リサイクルの運用拡大	・特になし	0.00	0.00	0.00		
	今後実施する予定の取組						・特になし			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
①現状 【前年度実績】	自ら熱回収を行った量(t)	0.00	0.00	・特になし	・特になし	0.00	0.00	0.00		
	自ら中間処理により減量した量(t)	0.00	0.00				0.00	0.00		
②計画 【目標】	これまででに実施した取組			・特になし	・特になし	0.00	0.00	0.00		
	自ら熱回収を行った量(t)	0.00	0.00				0.00	0.00		
	自ら中間処理により減量する量(t)	0.00	0.00	・特になし	・特になし	0.00	0.00	0.00		
	今後実施する予定の取組						・特になし			

前年度 (2024年度)実績、目標及び取組

項 目		産業廃棄物の種類 (名称)		木くず		金属くず	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器屑			
				木屑 (構内)	木屑 (出荷物流)		廃蛍光管	ガラス・コンクリート・ 陶磁器類		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状	全処理委託量(t)			261.83	170.55	6.77	0.33	1.98		
		優良認定処理業者への 処理委託量(t)		261.83	156.67	0.00	0.33	1.46		
		再生利用業者への 処理委託量(t)		261.83	170.55	6.77	0.33	0.52		
		認定熱回収業者への 処理委託量(t)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	【前年度 実績】	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		これまでで実施した取組		・再生利用業者への処理委託を行 い、最終処分量をゼロにした		・再生利用業者への処理委託を行 い、最終処分量をゼロにした		・再生利用業者 への処理委託を 行い、最終処分 量をゼロにした		
②計画	全処理委託量(t)			250.00	160.00	6.00	0.30	1.80		
		優良認定処理業者への 処理委託量(t)		250.00	152.00	3.00	0.30	1.40		
		再生利用業者への 処理委託量(t)		250.00	160.00	6.00	0.30	1.80		
		認定熱回収業者への 処理委託量(t)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	【目標】	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		今後実施する予定の取組		・再生利用業者への処理委託を行 い、最終処分量をゼロを維持		・再生利用業者への処理委託を行 い、最終処分量をゼロを維持		・再生利用業者 への処理委託を 行い、最終処分 量をゼロを維持		